



北見商工会議所青年部

会長 富 樫 伊知朗

早いもので今年もあつと
いう間に12月を迎えてしま
いました。

新聞や報道では大幅な景
気回復といわれております
が、なかなか我々の地域で
はそうではないのが現状に
思います。

昇り調子なのは北見Y E
Gのメンバー数？

だからこそY E Gと開き
直ってみませんか。

やる気と・元気をY E G
で見つけるチャンスかも知
れません。

しかしそんなチャンス
を残念ながら逃がしている
メンバーが多いように思いま
す。

元気な自分をつくるため
に4委員会に頑張ってもら
っていますので多くの参加
をお願いします。

先日、ばんば場に初めて
足を運びました報道で廃止
になるだろうと知ったから
です。

北海道遺産にもなってい
るものも無くなる、いつも
こうなつてから・・・だ
つた。そうならないために
今一度自分の周りを見直し
てみましょう。90名を超
えるメンバーが在籍する北
見Y E Gの力を大いに利用
してもらいたいと思います。

最後に19年度北海道Y
E Gの会長に舩川君が承認
され着々と準備が進められ
ております。またひとつ元
気をもらつたチャンスを見つ
けてもらったことをご報告
しご挨拶いたします。

今年もあと少しガンバロ
う！。



第26回 商工会議所青年部 全国大会大分大会

去る11月10日、大分県大分市・別府市で開催された第26回商工会議所青年部全国大会大分大会に、我が北見YEGメンバーが参加してまいりました。

雨模様の中、別府市に到着しましたが気温は20度を超えており、11月とはいえずが南国九州は大分県、別世界のような暖かさでした。大懇親会場の大分城址公園には3,500人以上の全国各地のYEGメンバーが集結し大変活気に満ちていました。大分特産のだんご汁や関サバ、焼酎などに舌鼓を打ちながら、今年度全国YEG会長が帯広YEG国枝恭二君ということもあり、北海道の各単会のテーブルは非常に盛り上がりつつありました。



翌11日は会場を別府市のビーコンプラザに移して大会記念式典が開催され、前日同様多くのメンバーが参集し、山口日商会頭をはじめ多くのご来賓がいらつしやる中、地元の日本文理大学チアリーディング部による学生日本一のパフォーマンスなどが繰り広げられました。大会席上、次回大会が千葉YEG主催のもと千葉市で開催されること発表されました。このよつな大会は参加してみなければ良さがわかりません。来年の大会には一人でも多くの皆さんが参加して、19年度北海道ブロック代表理事に就任する舛川誠君を盛り立てていければと思います。

監事(コミュニケーション委員会) 稲村 秀一

第19回 北海道ブロック大会 浦河大会を終えて

10月14日、15日と約20名の皆さんと北海道ブロック大会浦河大会へ参加してまいりました。「再び浦河、集う仲間。今新たな歴史が始まる」と題し、全道各地のYEGメンバーが1年ぶりに顔を合わせました。14日は会長会議から始まりその後、日本中央競馬会日高育成牧場の視察、パークゴルフ大会、ホースシューズ大会の3つの分科会が開かれ大変楽しい時間を共有されていたものと思われまふ。記念講演としてプロ野球解説者 村田兆治氏による「地域経済とスポーツ」執念が私の野球人生を支えてきた」をテーマに村田氏が野球界で培ってきた不屈の精神について経験談を交え講演をされました。

国枝会長が神輿に乗って派手に現われて大懇親会が始まり浦河ならではの豪華な海の幸「山の幸」を堪能させていただきました。大抽選会では北見から二人の大物が豪華な景品を当てておられました。塩野屋事務局長、稲村監事おめでとうございました(旅行券〇万円だそうです)その後の浦河ナイトでは未来のエース候補が華々しいデビューを飾り会場を大いに盛り上げておりました。伊藤さんお疲れ様でした。元気のある北見メンバーの底力を垣間見る事が出来て良かったと思います。翌15日は式典があり次年度北海道ブロック代表予定者 北海道商工会議所青年部会長予定者の舛川さんが紹介されました。

来年は浦河大会で北海道ブロック大会があるそうです。是非皆さんと一緒においしいうんぎスカンを食べに行きましょう!!



総務広報委員会 随 行 一 臣

例会報告

8月例会報告

「ホームページの活用術」と題し青年部のホームページについて検証してみました。

事前のアンケートを元に会員の利用状況を調べ、まずは見てもらえようなきっかけ作りとして青年部の掲示板を通じ電子コミュニケーションの促進につとめたいと考えました。利用の方法について実際にパソコンを使っていたら出来ただけ解り易く説明させていただきました。文章の投稿、投稿文への返信、写真画像の挿入などを会員の皆さんにやっていただきました。直接おられることによりすぐに理解いただけたのではないかと感じております。

他にも商売の宣伝に使っていただく事業所の新着情報、会員以外にも活用いただく情報交換の掲示板、広報TRYの閲覧方法などもあわせて案内させていただきました。

また後半では遠隔地同士のインターネット通信手段の一つとして注目されているスカイプを紹介させていただきました。スカイプ上で動画を撮ったり取り取りがまた低価格なのが魅力的です。最大で5名まで同時に進行できます。

最後に北見YEGのホームページが皆さん方にお使いいただけるように改善、更新に努めていきたいと思っております。このようなことでもご意見をいただければ幸いです。



総務広報委員会 随 行 一 臣

9月例会報告

「知っておきたい介護保険サービス」本例会は「知っておきたい介護保険サービス」と題して、介護にかかわる情報を、わかりやすく、そして楽しく理解いただくために、勉強会を開催させていただきました。ゲスト解説者として北見市保健福祉部介護福祉課から担当係長のお二人、小野寺範子様と大栄一裕様にお越しいただきました。毎日お昼に放映されているTV番組「おもいっきりテレビ」を思い出された方も多かったのではないのでしょうか。みの方に変わるメインキャスターを河合氏が務め、おもしろおかしく進行させていただきます。本例会では単なる講師例会ではなく、パネラーを含めた質疑応答形式の開催を試み、解説者にも好評だったフリッツも多様に使用し、介護保険の受給資格・その他サービスの利用方法を学びました。

「介護保険」という非常に難しいテーマでしたが、分かりやすく、興味深い例会ができたのではないかと思います。当会会員にとって必要不可欠なテーマであったこともあり、熱心に聞き入っていたメンバーが多かったように思われまふ。いくつかまた、介護保険について、より掘り下げた内容で例会を開く機会があるかも知れませんね。



マイスキルアップ委員会 岩瀬洋一郎

10月例会報告

10月例会は「マーケティング」をテーマに、マーケティングの考え方や進め方などの基本を理解することを目的に開催いたしました。

講師には大森義之氏(飲食フリーパー)で有名な、札幌版「HOTDEPPER」を立上げ、道内雑誌発行部数No.1に育て上げたインテペンテント・コントラクター)をお招きいたしました。

多種多様な業種の集まりである、我々北見YEGの各会員のそれぞれの会社にあてはめて整理出来るように、次のようにSWOT分析を用いてマーケティング戦略を考えたい方法の解説、

- ① 業界・自社の現状分析(強み、弱みを把握するSWOT分析)
- ② 戦略の立案
- ③ 戦術実施
- ④ 効果分析

お金や人材などの資源を集中して投下する「ランチェスターの法則」の解説などを、大森講師のリクルート時代からの実体験を踏まえて、面白く、判り易く解説していただきましたので、知っているようで、実はよく知らなかったマーケティング戦略の立案方法が理解できたように思っています。

普段は聞けない業界の裏話まで、こっそり教えていただきましたし、「自社の場合にあてはめた場合、どうすればよいのだろうか」ということを常に考えながらのあつという間の90分でございます。

「参加会員は、自分の会社にとっては何一つでいいから実践していくことに意義がある…」との、千葉副会長の挨拶で閉会いたしました。各会員は、自らの会社について大きな問題意識を持ち、帰路に着いたことと思っております。

次回の我々の担当例会であります12月例会でも、マーケティング戦略に欠かせない手法をご紹介したいと思います。



総務広報委員会 随 行 一 臣

えておりますので、ご出席賜りませう、よろしくお願ひ申し上げます。
マネージメントトレーニング委員会
伊東 隆志

11月例会報告

テーマ「一致団結!! サブテーマ「気分はオリンピック選手!!」の基、11月18日常呂町カーリングホールにおいてカーリング大会を開催させていただきました。

ほとんどのメンバーは初心者です。世界選手権出場のインストラクターから基本動作を教わり8チームに分かれてトーナメント形式のゲームを行いました。白熱した競技の結果、チームW1が一番良かった随伴チームが優勝・準優勝に松原チーム・3位に千葉チームとなりました。最下位の岸本チームは夜の宴会では罰ゲームとしてコンパニオンをしてもらいました。

6時よりホテルルートイングランティアサロマ湖にて懇親会を開催しました。

懇親会では富樫会長のカーリング総評の後、舛川次年度北海道ブロック会長の乾杯の発声、カーリング表彰式に続いて委員会対抗電流綱引き大会、新入会員PRタイムと大いに盛り上がりました。また、2次会では別室にて夜遅くまで懇親を深め合い北見YEGとして

稔りある一日となりました。ご協力して頂いた皆様に感謝申し上げます。会報告とさせていただきます。



コミュニケーション委員会

加納 正樹



編集後記

早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。皆様におかれましては仕事も「ラストパート」というところでしょうか？

今年は「北見じゃん村」オープン等、話題の多い一年でありました。

来年も北見YEGのパワーをもって、地域経済に影響力のある団体を自負し取り組んでいきたいものです。

年末に向け、夜の街に練り出す機会も多くなると思いますが、くれぐれも体調をくずさぬようお願いをさせていただきます。

最後に、TRY 12月号発行に際し、大変ご多忙の中ご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。皆様にとって来年も良い年でありますように……。

総務・広報委員会

中川 勝一



次号 第19号は平成19年4月初旬発行です。

TRYに載せて欲しい記事をお持ちの方は、お気軽に総務広報委員会まで、お知らせください。